

ワーキンググループによる検討プロセス

▶ スタジアムの将来を考える、2つのワーキンググループ (WG)

ワーキンググループはJクラブの施設担当で構成され、専門家による勉強会やグループディスカッション、各クラブのスタジアムプロジェクトの共有等を行っている。それぞれ数ヶ月に一度のペースで開催しており、来年上半年期を目処にある程度の方向性をとりまとめ、公表する予定である。

1 スタジアムの将来像ワーキンググループ

本WGでは、地域特性や諸条件にとらわれず、スタジアムとしてあるべき姿、将来に向けて視野に入れておくべきテーマについて検討している。検討結果を踏まえて、Jリーグが定めているスタジアム基準の見直しや理想の4要件に新たな項目を追加することも視野に入れている。

2 地域におけるスタジアムのあり方ワーキンググループ

スタジアムはスポーツ興行ができるだけでなく、それぞれの地域に必要とされている機能を兼ね備えた地域の公共財となることを目指す。本WGでは、地域特性や地域の課題を分析し、防災、医療など「街の機能」として必要な機能をスタジアムに付加することを具体的に検討している。2つのクラブをモデルケースとし、その他のクラブ・地域の参考となるように、検討プロセスをWG内で共有している。



▶ スタジアムの将来の方向性と、将来像の具現化に向けたプロセス

プロサッカーリーグとして興行を成立、発展させるには、フットボールのエンターテインメント性の高いスタジアム、すなわちフットボールスタジアムであることが理想となる。また、スポーツ先進国である欧米諸国では、スタジアムにおける常設施設の活用は、1~2週間に1回の試合開催以外の恒常的な収益の柱となっている。

日本国内は、Jリーグ入会時に国体施設の陸上競技場をホームスタジアムと定めるクラブが多く、フットボールスタジアムの少なさ、クラブが公共施設のテナントの一つでしか無いことが課題となっている。

一方で、Jリーグ開幕から30年が経ち、Jクラブが地域

の公共財として浸透してきたこと、現在はコロナ禍で苦戦してはいるものの、スタジアムは試合ごとに数千人~数万人の観戦者が集う街の集客装置という機能を果たしていることなどから、各地でフットボールスタジアム構想が立ち上がり、スタジアムは増え続けている。

こうした強み、弱み(課題)、そして今後エンターテインメントコンテンツに期待される技術開発、社会全体の環境配慮や地域創生事業への投資トレンド、人口減少・高齢化の進行、景気・経済的背景、エンタメビジネスの多様化などの外的要因も踏まえ、スタジアムの将来の方向性を定めた。

スタジアムの将来の方向性

- 1 各所に最新技術が導入され、フットボールスタジアムであることも含めて、サッカー興行において高いエンターテインメント性を備えている
- 2 ESG(環境、社会、ガバナンス)に十分配慮されており、経営・運営も含めてサステナブルである
- 3 地域それぞれのニーズを適切に踏まえ、地域社会の発展に貢献することができる



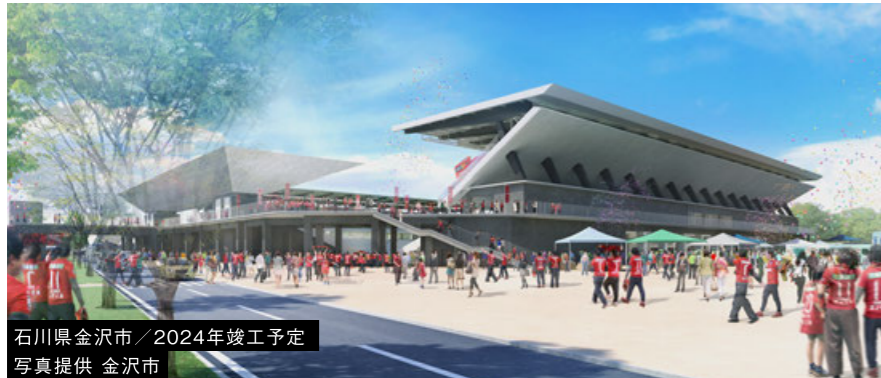
「フットボールスタジアムであること」については、理想のスタジアムの4要件を推進し、将来的にフットボールスタジアムを義務化する姿勢を打ち出す

現在のスタジアム構想進捗

Jリーグ開幕以降、多くのスタジアムが建設され、現在も各地でスタジアムの建設の進行や検討が進められている。

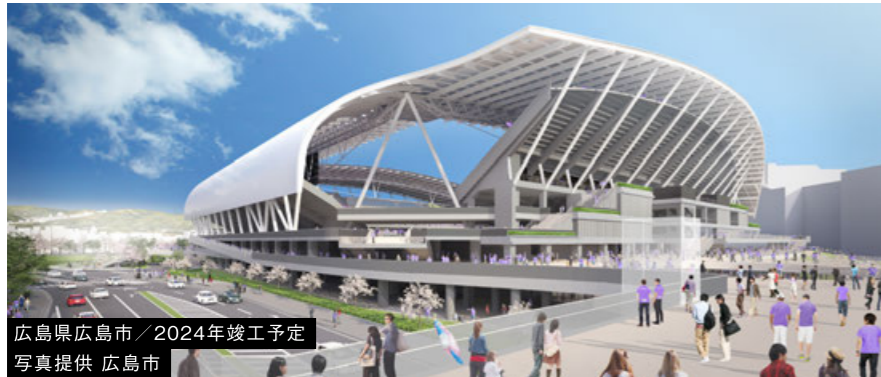
いずれも2024年に竣工予定の下記のスタジアム構想は、現在の「理想の4つの要件」に近いスタジアムとして大きな期待が寄せられている。中でも長崎の新スタジアムは、スタジアムの他、アリーナ、ホテル、商業施設、オフィスなど、日本で初めての本格的なスタジアムを中心とした複合施設隣接のシティプロジェクトとして注目を集めている。

金沢市民サッカー場再整備プロジェクト



石川県金沢市 / 2024年竣工予定
写真提供 金沢市

HIROSHIMA STADIUM PARK PROJECT



広島県広島市 / 2024年竣工予定
写真提供 広島市

金沢市は「金沢市民サッカー場再整備プロジェクト」として、1万人規模のフットボールスタジアムを整備。将来的には1万5,000人規模まで拡張することが可能な計画であることが特徴だ。

広島市が中心となって推進する「HIROSHIMA STADIUM PARK PROJECT」は、中央公園広場にフットボール専用スタジアムを建設。建設予定地近くは複数のスポーツ施設の他、文化科学館、図書館、美術館が隣接するスポーツと文化の中心地であり、原爆ドーム、平和記念公園の間近に位置している。スポーツの熱気によって、文化、そして平和への願いがより高い熱を帯びて発信されることが期待される。

長崎市で推進される「長崎スタジアムシティプロジェクト」は、ジャパネットホールディングスが推進する民間主導による都市開発プロジェクトである。スタジアムの他にアリーナを併設し、オフィス、商業施設、ホテルなどが隣接する日本で初めてスタジアムを中心とした複合施設型のシティプロジェクトとして大きな注目が集まっている。

長崎スタジアムシティプロジェクト



長崎県長崎市 / 2024年竣工予定
写真提供 ジャパネットホールディングス（※構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります）